

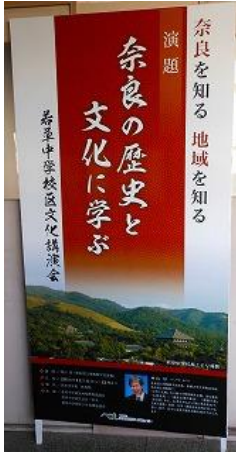
事業名

奈良を知る 地域を知る

目標

幼小中の連携を大切にし、地域や学校の良さを誇れる児童・生徒

1. 取組の視点



若草中学校校区は歴史が古く、豊かな文化財、自然に恵まれています。3年間を一つのサイクルとして、地域の良さを学び、自分の学んだ地域・学校を誇れる生徒を育てたいと考えています。

また生徒数の減少ということも今後この地域の大きな課題となっていくと見られます。校区の幼小中の連携・幼幼連携・小小連携を大切にしながら活動を進めています。

2. 取組の概要

○文化講演会の開催

「奈良の歴史と文化に学ぶ」

奈良国立博物館学芸部長 西山 厚さんを講師としてお招きしました。校区の幼小中学生全員にチラシを配布するとともに、地域の掲示板にポスターを掲示してもらいました。当日は生徒・保護者・地域の方々523名が聞きにこられました。

お話の中で「第63回正倉院展で出展されていた黄熟香（蘭奢待）を織田信長が多聞山城へ運ばせ仏師に切らせました。美しい城（多聞山城）で、美しい光景である。」との説明がありました。特に若草中学校でこの様な歴史的な出来事が生徒たちには印象に残ったようです。自信と誇りをも



って学校の歴史を語ることでできる生徒

を育てたいという思いや願いが、参加していただいた保護者・地域の方々にも届いたと思われます。

○菜の花プロジェクト

地域の方々の協力を得て、土壌づくり・種まき・間引き・植え替え・花摘み・刈取り・種取り・脱



穀・油搾りの過程を経験しました。保護者・地域の方、園児や児童で東大寺に油を奉納しました。この活動を通して幼小の連携がより強いものとなりました。また植物を大切に育てる気持ちが育



ったり、東大寺への奉納を通して世界遺産への関心も強くなったりしました。

3. 成果と課題

校区内の保幼小中学校が連携を密にして地域での事業を実施することができました。「子どもがつながる」「指導者がつながる」「地域や保護者がつながる」取組ができました。また今年も多くの保護者・地域の方を招いて「奈良を知る、地域を知る」講演会を実施することができました。

先進地視察として、奈良市内でも放課後学習などのすばらしい取組をしておられる富雄中学校区の実践から多くのことを学びました。学習支援の様子を聞かせていただきながら、多様な取組を実践されていることに驚きました。若草中学校区で生かせるヒントをいろいろ教えていただきました。今後どのように進めていくのかを考え実践していきたいと考えています。

事業名

学びを育む

目標

自ら学ぶ姿勢を身につける

1. 取組の視点

生徒たちに「真の学力」を身につけさせるために教科学習に力を注ぐと共に体験的な学習を大切にしながら学力の向上を図っています。本当に学ぶことの楽しさを知った生徒は目標をしっかり持ち、どんな困難な課題も粘り強く克服していけると考えています。今年度は先進校視察も実施し、素晴らしい実践から多くのことを学びました。

また今年も多くのご来校者から来校していただき、直接学ぶ機会を大切にしました。実際の生活や自分の進路選択において役に立つような取組へとつながっていきます。

何の為に学習するのか、何に向かって学習を進めていくのかを常に問いながら、身につけた力を様々な発表会、生徒会活動でも十分に発揮出来ることを願って取組をすすめています。

2. 取組の概要

○「学びのはぐくみ」の作成・配布

3年間を見通した学びのはぐくみを作成しました。1年生2年生では家庭学習ノートも持たせ指導をしています。家庭でどのように学習をすすめていけばいいのか悩んでいる生徒たちへの具体的な見本となるようにしました。

○「図書館学習」



毎週火曜日と長期休業前や休業中に学力補充の取組を続けています。英語・国語・数学の学習に取り組んでいます。

○「私の主張」発表会

自分の訴えたいことをしっかり伝え、友の話を心から耳を傾ける雰囲気を作りたいと考えています。今年も学級・学年・文化祭の場で発表会を

行いました。保護者・地域の方々からも素晴らしい取組であるとの評価を頂きました。

○ゲストティーチャーから学ぶ

1年生では、7名の留学生から様々な国の文化について学ぶ機会を持ちました。これからの生徒は国を越え、お互いの文化を尊重し、尊敬と信頼



を持って理解し協力し合う必要があります。2年生では、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい

生き方を実現するため8名の講師の方をお招きし、職場体験の事前学習会を行いました。プロの方々の素晴らしい技能に感動と憧れを抱く良き機会となりました。

2年生の障がい者理解講演会では、毎年お願いしている車いすバスケットの元日本代表の根木さんから学びました。根木さんの巧みな話術と素晴らしい技に引き込まれ、楽しい2時間を過ごしました。

3. 成果と課題

多くのゲストティーチャー・保護者・地域の方々に学校に来ていただき、生徒の姿を見ていただく機会を多く持つことができました。「今後も継続して協力します」「若草中学校に毎年来るのが楽しみです」という言葉もいただきました。多くの方々から生徒たちの学ぶ機会が増えました。

先進校に学ぶことで、自校の足りない部分が見えてきました。特にシラバスを作成し学習内容やつけたい力を保護者や生徒に明確に示していく取組、家庭学習や連携の大切さを啓発していく取組を進めていく必要を感じました。

事業名

鼓阪すてき出会い発見

目 標

児童・PTA・地域住民が、様々な「人」「物」「事」と出会い、互いに結びつきを深め合えるようにする。

1. 取組の視点

世界遺産に囲まれた素晴らしい環境で、地域ぐるみでの子育てをめざし、多くの経験と体験を通す中で地域と学校の結びつきをさらに深め、豊かな人権文化を育むことに力点を置きました。具体的には様々な特技や伝統を継承されている「人」を通して学び、古くから残され伝わっている「物」に学び、事柄や体験と歴史的事象から「事」に学ぶ取組に視点を置き取り組んできました。

2. 取組の概要

☆人権地域学習をととして

夏期休業中に鼓阪地域の人権スポットをめぐり研修を積み重ねて来ました。昨年度、作成した若草中学校区周辺人権マップをもとに、教職員・PTA・地域の方々と一緒に一日がかりで回りました。今年度は、北山十八間戸や般若寺・翁舞いで有名な奈良豆比古神社・植村牧場などを見学し



て地域の歴史を学ぶ学習を行いました。日頃、見続けている場所ではあるが、ゆっくりと時間をかけて、説明を聞きながら歩いていくと、見えていなかったものが見えてきたように感じました。有意義深い学習でした。

☆菜の花プロジェクト事業

本年度から鼓阪幼稚園と小学校合同で「菜の花プロジェクト」事業を始めました。幼・小連携も兼ねての取組として始めた為、小学校は特に1年生・2年生が中心となっておこなっています。畑作りから始めました。村田さん、黒飛さんの指導

を受けながら、小さな種を手のひらに乗せて丁寧に植えている児童たちの真剣な表情が印象的でした。

毎日、水を与えて少し大きく成長してきたときには、プランタに植え替えをおこなったり、別の花壇に植え替えをおこなったりと一生懸命の世話をしています。自分の手で花壇を耕し、自分の手で菜種をまき、成長を見守っている姿は、素晴



らしいと感じました。

3. 成果と課題

「笑顔あふれ・歓びあふれ・愛あふれ」という学校教育目標を追求する取組が出来たように思います。数々の取組をおこなう中で、児童の表情には輝きが見られ、笑顔が見られました。そして、地域の方々とのつながりが出来ました。

「人」との出会いで、多くのつながりが出来、「物」との出会いで深く知ることが出来、「事」との出会いで喜びが湧いてきたのではないかと感じました。

地域の方々に見守られ、助けられた事業であったと思います。何よりも、取組を行う中で、物や事に触れ合うことにより、興味関心が次の学習へのステップになって行ったように感じます。体験学習や経験学習の大切さを実感した事業でした。

更に今後、この事業を積み重ねていくことが、継続的学習にも発展していくと思います。常に支えていただいている若草中校区の方々に感謝します。

事業名

佐保に生きる

目 標

- ・佐保のよさが分かり、佐保を愛する心情と態度を育てる。
- ・佐保の自然や文化遺産を学ぶ。

1. 取組の視点

・本校の「特色ある教育活動」を推進する中で、「佐保に生きる」をテーマに、体験的な学習の充実に努めます。特に、ビオトープづくりを通して、佐保の環境を考えます。

・全校縦割りの異年齢集団活動（ともだち活動）では、高学年の子どもたちが、リーダーとしての自覚をもち、仲間意識を育てます。

・本校の伝統である「マーチング活動」や地域の方に葉ボタンを届ける「みどりの少年団活動」では、地域の人とのふれ合いや交流を通して、子どもたちに自信と佐保に生きる誇りを持たせます。

2. 取組の概要

マーチング活動

児童 31 名（4 年～6 年）が、伝統あるマーチング活動を実施しています。昼休みや放課後の時間を利用して、一生懸命練習に励んでいます。本年度も人権ふれ合いフェスタの行事に参加したり、幼・小・中・高合同のふれ合いコンサートや各種スポーツ大会の応援演奏で発表したりしました。

日頃の練習の成果を発揮し、地域の方々から賞賛の声とすばらしい評価をいただきました。



アースデイ奈良コンサート

ビオトープづくり

3 年計画の 2 年目として、5 年生が、佐保の森にある観察池をよみがえらせ、地域の方に支援してもらいながら、ビオトープづくりを行いました。



地域の方より自然
環境を教わる

子どもたちが「自然」に触れ、慣れ、親しみます。そこから自然生態の「系」（システム）を肌で感じます。これを身近な「自然」から発見します。

このような目標を持って取り組みました。

3. 成果と課題

本年度も学校自己評価を行うと共に、保護者や学校評議員等による学校関係者評価を実施しました。子ども一人ひとりが、自分の住んでいる佐保のよさが分かり、地域の方に支えられて生きていることを肌で感じることができました。また、子どもたちの生き生きした姿に佐保のよさを知り、佐保を愛する心が育っているとの賞賛の声等を聞くことができました。地域の方とのつながりがより深まったと思います。しかし、保護者や地域の方が学校教育活動をどれだけ具体的に理解してもらっているのか不安もあります。このことから、さらに地域の人との交流の場を多く設定し、地域の人を巻き込んだ教育課程の工夫や多くの人に学校の取り組みを知ってもらうための啓発と発信を強める必要があると思います。

事業名

夢が広がるふれあい広場

目 標

人・もの・こと及び地域とのふれあいを通して、学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童が育つ学習環境づくりをいっそう進めていく。

1. 取組の視点

主体的に学ぶ児童の育成を目指してきましたが、相手とのコミュニケーションがうまく取れず、理解が不十分であったり、反面自分の気持ちを素直に出せずにいたりして、ともすると友情関係を保つことができませんでした。そこで、相手との関係を良好に保つためコミュニケーション能力を高めていきたいと考えました。同時に、児童数が減少している実情から、地域を愛し、地域のよさのわかる児童の育成を目指してきました。子どもたちの学校生活をより潤いのある、また輝きのあるものにするため、学校・保護者・地域の方々と手を携え進めています。

2. 取組の概要

各学年における発達段階にあわせて、1・2年生は、幼小連携及び菜の花の種取りを行います。3年生は、地域学習や地域の遺産を調べます。4年生は、環境学習を軸として、気象学習やエコ学習を行います。5年生は、世界遺産学習。また、ならやま会との交流や菜の花プロジェクトの一環として、東大寺・春日大社への菜種油の奉納。6年生は、平和学習。その他、全学年による食育指導を行っています。



菜の花プロジェクト（苗植えの様子）

これらの学習を通して、コミュニケーション能力を育成し豊かな自己表現ができる子をめざし、話し合い活動を円滑に進められることになって、人前でも、分かりやすく自分の考えを発表し、多くの人とコミュニケーションをとることもできるようになってきています。また、保護者や地域の方々によるお話たつきゆう便での読み聞かせや北っ子図書倶楽部での本の修理など、子どもたちが意欲をもって読書をするようご協力いただいています。



幼小連携（秋祭りの様子）

3. 成果と課題

低学年においては、幼小連携など合同の活動の場を多くもつことで、それぞれの学年として思いやりのあるコミュニケーションをとるようになりました。高学年になるにつれて、発言の仕方もよくなり、聞き手を意識した話し方や声の出し方に注意しています。しかしながら、自分の意見を言いにくい児童や、集中して聞くことのできない児童もいることも確かであり、これからも、子どもたちが自分たちの地域のよさを発見し、人・ものを大切にする子を育てていきたいです。

事業名

みんなでわくわく、笑顔がいっぱいっざっ子事業

目 標

園児・保護者・未就園児親子・地域住民・近隣園児・小学校の児童が触れ合い、交流を通して豊かな心を育み、共に感動体験が出来るようにする。

1. 取組の視点

「人・物・できごと」との出会いを大切にし、楽しい体験をすることで、豊かな心を持ち意欲的に活動する幼児の育成に向けて、幼児教育の推進に取り組むと共に、それらの活動に合った環境の充実を図ってきた。

2. 取組の概要

☆親子での楽しい経験を通して

親子でいろいろな経験をする中で、園での子どもの姿を知ってもらい、園活動の中で身に付けていることや育ち・園教育への理解を深めたいと、夏祭り・お茶会・人形劇観劇会・親子遠足・餅つき会などを行っています。又、日曜参観日にお店屋さんごっこの遊びに参加してもらいました。子ども達がいろいろな素材を生かして作った品物に関心を寄せ、お客さんになってもらい遊びが盛り上がりました。夏



祭りでは、民生委員さんや地域の方にも参加を呼びかけ、模擬店や地域の方による手品・バルーンアートを見せてもら

い楽しいひとときを過ごしました。

親子遠足は、教育センターに出かけ親子で製作をしたり、プラネタリウムを見せてもらったりし、星座に興味を持つことが出来ました。お茶会では、落ち着いた雰囲気の中、親子でお茶の作法を学ぶことが出来ました。



☆未就園児との触れ合いを通して

未就園児親子登園の日と一緒に活動する時間を設けました。絵画活動・紙芝居やエプロンシアターを見る活動・お店屋さんごっこの遊び・人形劇観劇・手遊び・体操・音楽会や生活発表会の一部の内容等を行い未就園児に親しみを持ったり、一人一人の自信につなげたりしました。



☆ゲストティーチャーを迎えての活動

地域の方をゲストティーチャーに迎え、わらべうた教室・沖縄舞踊教室を開きます。教えていただいた沖縄舞踊は、万葉苑訪問の時に披露しお年寄りとの交流を深めました。わらべうたは生活発表会の中に取り入れました。又、お話を聞き、奈良に伝わる民話を素話で聞かせていただきました。「猿沢池のりゅう」の話の後、実際に出かけ、よりお話への興味が深まりました。



3. 成果と課題

○地域と協力して園児を育てていけるよう地域の教育力も活かしながら、活動に取り組んできました。様々な人々との出会いを通して、人と積極的にのかかわり、表現する喜びや人に対する優しさ等を身に付けることができました。

○少人数で園児だけではいろいろな経験が出来にくい面があるので、いろいろな人とかかわる中で楽しい経験を積み重ねていきたいです。

事業名

輝く笑顔、心豊かに育ち合う楽しい幼稚園

目標

地域の教育力を活用し、豊かな社会性や人間性を身につける

1. 取組の視点

親子でふれあえる活動の場や地域の高齢者・乳幼児がつどえるコミュニティとして、園・家庭・地域が一体となって豊かな体験を通して、子育て支援の拠点となる幼稚園の実現に向けて取り組むこととしました。

- ・地域の方の教育力により日本の伝統文化にふれる「さほっ子クラブ」(茶道・剣道・柔道・わらべうた・華道)やお話し会を実施しました。
- ・親子で一緒に活動したり感動を共感したりして、わが子の成長を楽しみながら子育てしていく保護者への子育て支援の工夫を重ねました。

2. 取組の概要

○さほっ子クラブ

地域の方の豊かな教育力によって、日本の伝統文化にふれ、挨拶や礼儀作法を学び、人と触れ合う楽しさや、心地良さを感じ、豊かな人間関係を育てたいと考え取り組みました。



(クラブの開講式)

各クラブの講師の先生と一緒に活動するクラブの友達を紹介しました。

(剣道クラブ)

姿勢を正しくして始めと終わりの挨拶や大きな声を出して動く心地よさも感じています。



(柔道クラブ)

畳の感触を楽しみながら歩くことや受け身にも挑戦しています。



(茶道クラブ)

正座にも慣れお点前も上手になりました。



(華道クラブ)

季節の花の名前や花の香りや花の色にも関心をもち楽しく生けています。

(わらべうたクラブ)

手と手をつなぎ、歌を口ずさんでいると心も体も温かくなり笑顔が輝きました。



○お話の会

年間を通して地域の方に手遊びを交えながら季節や行事などの話を聞かせていただいています。未就園児親子や友達と感動を共有し心を通わせる楽しいひと時となっています。



○親子触れ合い活動

11月にオープンキンダーガーデン、1月に昔遊び会を開催しました。地域の方にも来ていただき昔遊び(お手玉・けん玉・折り紙・おはじき・羽子板・こま回し)を教えていただき地域の人や家族、友達と楽しく触れ合って遊びました。



3. 成果と課題

様々な人との交流は、子どもにとっては園生活がより豊かに深まり、保護者にとっては子育てを楽しもうとする気持ちの支えになったように思います。継続的な交流は、その方々の人間性にも触れ、子どもたちの話を聴く力や態度の育成に繋がりが、コミュニケーション能力を身につける素地と考えます。地域の方の愛情深い昔遊びの教えは、人間形成の基盤である幼児期に、人に信頼感もち優しい心で接する経験になったと思います。

事業名

ふれあい であい 輝け 子どもの夢

目 標

地域や学校との連携を密にし、世代を超えたふれあい、
出会いを体験し豊かな心と輝く夢を育む。

1. 取組の視点

園児数が少ないという実態から、いろいろな人々（地域の方々・保護者・小学校・中学校・他園の友達・未就園児等）と出会い、触れ合い活動を通して、共に心に残る感動体験を積み重ねていくようにします。また、豊かな心と輝く夢をもった幼児を育成するために、地域や学校との連携を大切にしながら、保育内容や環境構成の工夫に取り組めます。

2. 取組の概要

【菜の花プロジェクト】

地域の方からの話を聞き、菜の花の天ぷらを作ってもらい食べました。足で踏んで種取りをした後、とうみで脱穀する様子を「すごいね」と興味をもって見ていました。10月には5年生や地域の方・保護者と一緒に貸切りバスで東大寺に菜種油を奉納する経験もできました。



【野菜の収穫～北っ子パーティー】

地域の方と一緒にカレーに使う野菜を収穫しました。北っ子パーティーは1年生や地域の方を招待し、1年生から本を読んでもらったり、みんなで貨物列車の遊びを楽しんだりしました。保護者の方が協力して作ってくださったカレーを「一緒に食べよう」と誘い合って食べ会話も弾みました。



【絵本の読み聞かせ】

毎月、ボランティアの方が絵本の読み聞かせに来て下さっています。



「今日はどんな絵本かな？」と楽しみに待つようになり、「この本が面白かったよ」「今度は虫の本がいいな」と自分の思いを話す幼児も増えました。話に興味をもち、じつくりと聞く態度も育ってきています。

【他園との交流】

3園で園外保育に出かけました。「お花がきれい」と手をつないでコスモスが咲く般若寺の境内を散策したり、植村牧場で大きな牛を見たりしました。奈良豆比古神社では地域の方にクスノキに棲むフクロウの話を聞かせてもらいました。自分たちの校区にある身近な文化財に触れるよい機会となりました。お弁当を食べた後、みんなでリレーをして遊び、交流を深めることができました。



【青山会の方々との交流】

歌を歌ったり、ジャンケン遊びをしたり、昔の遊びを教えてもらったりしました。お手玉やこま回しを披露してくださり、「わあ、すごい」と拍手を送っていました。また、園内作品展に案内し、「上手やね」と声をかけてもらい嬉しそうな表情を見せていました。

3. 成果と課題

いろいろな人々と触れ合い、感動体験を積み重ねたことで、生活経験が広がり、人に対する思いやりや感謝の気持ちをもつことができました。心豊かな幼児を育むために地域・幼・小・中が連携し合い、さらなる充実した活動への取り組みを図っていききたいです。